

岩手県保健医療計画（2024-2029）の進捗評価

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
医療と介護の総合的な確保の推進	（医療と介護の総合的な確保の推進が求められている背景） ○ 二戸圏域の人口推計では、高齢者層の一部の年代において人口が微増する時期があるものの、その後は減少に転じ、むしろ高齢者を支える 65 歳未満の年齢層の割合の減少、高齢者層の割合の増加が地域の課題になると見込まれています。 〔二戸圏域の人口及び高齢者人口（介護保険第 1 号被保険者）の推移〕 - 令和 5 年(2023)年の二戸圏域の総人口は 47,259 人（令和 5 年(2023)年 10 月 1 日現在）であり、うち第 1 号被保険者数（65 歳以上）は 19,990 人（42.3％）を占めている。 - 令和 7 (2025)年には、総人口 45,557 人、第 1 号被保険者数 19,965 人（43.8％）（推計） - 令和 12(2030)年には、総人口 41,017 人、第 1 号被保険者数 18,929 人（46.1％）（推計） ○ これらの変化等に対応するため、地域の限られた医療と介護の資源を活用して効率的かつ質の高い医療提供体制及び地域包括ケアシステムの深化・推進が必要であり、そのために病床の機能分化と在宅医療を含めた医療と介護の連携を進め、介護保険施設等の整備計画を勘案しながら、二戸圏域における医療と介護の総合的な確保を推進する必要があります。 （多職種の研修や住民に対する啓発の推進） ○ 地域包括ケアシステムの深化・推進のために、多岐にわたる医療職と介護職（多職種）連携は不可欠です。限られた人材で対応するため、在宅医療推進に係る多職種合同の研修や研究を推進し、事前指示書などによる終末期の対応への理解など住民に対する啓発をさらに進める必要があります。 （療養者情報共有化の推進） ○ 限られた医療資源を有効活用するために、医療・福祉・介護間での患者や利用者の情報共有化を図る必要があります。 （高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上） ○ 口腔機能の低下や誤嚥性肺炎の予防等のためには、在宅療養者の適切な歯科受療が必要です。また、介護施設入所者や在宅受診困難者のニーズに応えるため、在宅歯科医療と介護の連携を確保、強化することが求められています。 （認知症対策の推進） ○ 圏域の認知症高齢者の数は、約 2,900 人（令和 3 (2021)年 3 月 31 日現在）で、介護保険第 1 号被保険者に対す	（多職種連携の推進） ○ 「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」及び「在宅医療に必要な連携を担う拠点」を医療計画に位置付け、多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制を整備します。	【NPO 法人カシオペア医療介護支援センター】 ○「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての取組 ・「岩手県保健医療計画（2024-2029）」において、当医療圏における在宅医療に必要な連携を担う拠点として、当 NPO 法人が位置付けられた ・県医療政策室主催の「在宅医療に必要な連携を担う拠点の情報交換会」に出席し、県内の各拠点の取組状況や課題、今後の方向性について情報交換を行った ○カシオペアNETフォーラム開催（2 回） ・第 2 回カシオペアNETフォーラム（11/13） 講演：ICT を活用した地域住民への地域包括ケアサービスの推進 講師：後藤弘樹氏（茨城県笠間市総務部長） 活動報告：訪問歯科診療の紹介 演者：森川伸彦氏（当 NPO 法人理事） ・第 3 回カシオペアNETフォーラム（2/13） 講演：kintone をはじめとする ICT を活用した情報共有 講師：西出真悟氏（福井県の医療法人オレンジグループ オレンジホームクリニック前副院長） 活動報告：ICT ツールを用いた地域における情報共有の実際 演者：高橋浩氏（当 NPO 法人理事長） ○カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会の開催 ・地域の医療・介護・福祉・行政関係者による多職種連携を強化するため、カシオペアNET 検討委員会及び包括支援部会を開催し、課題の共有、意見交換及び情報共有を行った ・カシオペアNET検討委員会(3 回)、包括支援部会(1 回)開催 ○関係機関との連携、普及啓発等 ・歯科訪問診療の推進を目的に二戸歯科医師会と協議し、「歯科訪問診療依頼書兼同意書」を作成・運用開始した。カシオペアNET 及びホームページで様式を公開し、歯科訪問診療の周知と関係者間の連携強化を図った ・福岡高校カシオペア講座「医療・看護コース」への講師派遣及び講義を実施（6 講義 2 クール） ・軽米町家族介護者教室（11/15） 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」について 講師：金澤悟氏（当 NPO 法人理事） ・九戸村家族介護者教室（3/21） 「ACP を取り巻く環境 ～2025 年問題～」 講師：金澤悟氏（当 NPO 法人理事） ・各市町村及び関係機関が開催する会議等に参加し、活動内容と目標を紹介することで、地域内における当 NPO 法人の認知度向上と連携強化を図った ○県医師会・県警察本部・県共催「医療 DX・サイバーセキュリティ講演会」（1/18）において、当 NPO 法人高橋理事長が、ICT を活用した先進的な医療・介護連携の取組について講演を行った	【NPO 法人カシオペア医療介護支援センター】 ○「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての取組 ・当医療圏における在宅医療に必要な連携を担う拠点として位置付けられたことを踏まえ、ICT を活用した地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、在宅医療提供体制の整備や関係機関との連携による支援強化を継続して実施 ・県医療政策室の担当者と意見交換を実施し、当 NPO 法人の活動内容、関係機関との連携状況、在宅医療に必要な連携を担う拠点の取組状況、カシオペアNET について説明を行うとともに、県の支援状況等の情報共有を行った ・県医療政策室主催の「在宅医療に必要な連携を担う拠点研修会」に出席し、各拠点の活動や課題把握等を行った ○カシオペアNETフォーラム開催 ・医療・介護・福祉連携と在宅医療及び終末期医療の重要性について理解を深めるため、カシオペアNET フォーラムを継続的に開催 ・第 4 回カシオペアNETフォーラム開催（12/19） 活動報告：「『カシオペアNET』システム、ファーストフェーズの構築内容について」 ※これまで多職種の方々で検討し発展構築を重ねてきたアプリを発表 講演：多職種連携はもう古い ～新しいステージへ～ 講師：大友宣氏（医療法人財団老蘇会静明館診療所理事（医師）） ○カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会の開催 ・カシオペアNET 検討委員会及び包括支援部会を継続的に開催し、ICT を活用した円滑な情報共有を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築、多職種協働による切れ目のない在宅医療提供体制及び多職種連携体制の強化を図る ○関係機関との連携、普及啓発等 ・福岡高校カシオペア講座「医療・看護コース」の講師選定及び調整、各講座に立会内容報告を実施（6 講義 2 クール） ・岩手県立大学看護学部岡田教授主催の久慈医療圏の医療・介護連携を深める看護職座談会出席（10/18） ・東北 7 県医療連携実務者協議会「医療 DX における地域連携」出席（11/8） ・一戸町在宅医療推進会議事務局会議出席 ・一戸町在宅医療セミナーの共催 ・カシオペア権利擁護支援センター主催研修会（12/5） 「アドバンス・ケア・プランニング」の基本～自己決定を尊重する支援のポイント～ 講師：金澤悟氏（当 NPO 法人理事） ・軽米町医療福祉連絡会議出席（12/10） ・介護事業所セミナー出席予定（1/28） ○一関市医師会主催「地域医療情報ネットワーク研修会」（9/11）において、当 NPO 法人高橋理事長が、カシオペア地域における ICT システムを活用した医療、介護及び福祉の連携を図る活動について講演を行った

圏域における取組等状況調書（様式 2）					別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
	る割合は約 14%を占め、今後も増加することが予測されることから、支援を強化する必要があります。 （地域医療構想の達成に向けて） ○ 圏域は、盛岡地域や八戸市など県外に流出している患者が多いことなどにより、介護施設・在宅医療等の追加的需要が多くなっています。将来的にこの追加的需要の受け皿を確保する必要があります。		【二戸病院】 ・二戸市における医療的ケア児への対応会議の定期開催（12,2月） 【軽米病院】 ・軽米町地域ケア個別会議への参加・・・隔月 ・軽米町保健医療福祉連絡会議への参加・・・隔月 ・カシオペア NET への出席 ・軽米町と連携して家族介護教室 2回 【一戸病院】 ・カシオペア医療・介護支援センター主催の会議、セミナーへの出席 【一般社団法人二戸医師会】 ・在宅医療人材育成研修事業の実施（2/13） 講演：『kintone をはじめとする ICT を活用した情報共有』 講師：医療法人レソソグループ レソソホームケアクリニック 前副院長 西出真悟氏 【二戸歯科医師会】 ・カシオペア医療介護支援センターへの参加 【二戸薬剤師会】 ○介護支援専門員協議会との連携 ・軽米町において、ケアマネシ ャ研修会開催時に「服薬支援ぽ」の展示説明を行い、独居者への服薬支援のツルとして紹介した ○カシオペア医療介護支援センターとの連携 ・ターミナルケアへの参画のため、フォーラムや諸会議、説明会に参加 ・カシオペア権利擁護支援センターにおいて、権利擁護を行う方々へ ACP へのかかわりについて講演（12/5） 【岩手県看護協会二戸支部】 ・精神科看護研修の実施 講演：「コミュニケーション・心のケア」 講師：佐藤宣子氏 【二戸市、軽米町、九戸村、一戸町（管内市町村共通）】 ○ カシオペア医療介護支援センター主催の研修会等の参加 【二戸市】 ○ カシオペア NET 検討委員会への参画 【軽米町】 ・岩手県医師会開催 ACP サポ ーター養成講座 2 名受講 ・保健医療福祉連絡会の実施 年 6 回（地域包括ケアシステムに関すること、ACP に関すること、意見交換等） ・家族介護者教室の開催 年 2 回 【九戸村】 ・地域ケア個別会議に九戸地域診療センターから出席を頂き、多職種連携でケース支援実施 ・ACP に関する講演会の開催	【二戸病院】 ・二戸市における医療的ケア児への対応会議の定期開催(7,2月) 【軽米病院】 ・軽米町地域ケア個別会議への参加・・・隔月 ・軽米町保健医療福祉連絡会議への参加・・・隔月 ・カシオペア NE T への出席 ・軽米町と連携して家族介護教室 2回 【一戸病院】 ・訪問看護ステーションいちのへ開設 ・カシオペア医療・介護支援センター主催の会議、セミナーへの出席 【一般社団法人二戸医師会】 ・在宅医療人材育成研修事業の実施（12/19） 講演：『多職種連携はもう古い～新しいステージへ～』 講師：医療法人財団老会 静明館診療所 理事 大友宣 氏 【二戸歯科医師会】 ・カシオペア医療介護支援センターへの参加 【二戸薬剤師会】 ○介護支援専門員協議会との連携 ・ケアマネ協会との連携を継続 ○カシオペア医療介護支援センター ・NPO が開催する研修会や説明会に参加 ・4 市町村の組織団体からの ACP に関しても研修会依頼に応需 【岩手県看護協会二戸支部】 ・精神科看護研修の実施 講演：「地域で取り組む自殺予防」 講師：星山千晶氏 【二戸市、軽米町、九戸村、一戸町（管内市町村共通）】 ○ カシオペア医療介護支援センター主催の研修会等の参加 【二戸市】 ○ カシオペア NET 検討委員会への参画 ○ カシオペア NET 医療介護連携ツル作成への参画 【軽米町】 ・医療介護連携研修会に参加 ・保健医療福祉連絡会の実施 年 6 回（地域包括ケアシステムに関すること、意見交換等） ・家族介護者教室の開催 年 2 回 【九戸村】 ・地域ケア個別会議に九戸地域診療センターから出席を頂き、多職種連携でケース支援実施 ・ACP に関する講演会の開催	

圏域における取組等状況調書（様式２）					別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			【一戸町】 ・多職連携強化のため、一戸町地域包括ケアシステム検討委員会及び一戸町在宅医療推進会議の実施（７回） ・介護支援専門員の他、医師、薬剤師、理学療法士、栄養士、歯科衛生士、社会福祉士等が参加したケア会議を実施(10 回)	【一戸町】 ・多連携強化のため、一戸町地域包括ケアシステム検討委員会及び一戸町在宅医療推進会議の実施 ・介護支援専門員の他、医師、薬剤師、理学療法士、栄養士、歯科衛生士、社会福祉士等が参加したケア会議を実施	
		（療養者情報の共有化システムの普及促進） ○ 入退院時に医療機関や介護保険施設等が療養者情報を事前に把握することにより、医療機関から施設等への退院調整や施設等から医療機関への入院時の対応などを効率的、効果的に行うため構築した情報共有化システムの普及促進を進めています。	【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】 ○「カシオペアNET」の構築・運用、普及促進 ・ICT を活用したカシオペア NET の利用について各関係機関に働きかけ、情報共有や意見交換を目的とした合同カンファレンス等での活用を促進した。また、関係機関からの案内・情報共有の手段としても活用し、地域内の医療・介護・福祉・行政関係者間における迅速な情報共有を支援した。 ・在宅療養と在宅介護の連携強化を図り、医療介護連携支援の充実につなげるため、患者・利用者の情報を地域包括支援センターや介護事業所等が情報を共有できる仕組みの構築を進めた。 ・カシオペア NET 検討委員会及び包括支援部会を通じて、より効率的かつ効果的なシステム整備を推進するとともに、参加施設の拡大と普及促進に取り組んだ。 ○ヒアリング及びアンケート調査の実施（12 件） ・システムの構築にあたり、各事業所の現状及び要望等のヒアリング及びアンケート調査を実施した。 【一般社団法人二戸医師会】 ・NPO 法人カシオペア医療介護支援センターとの連携 【二戸歯科医師会】 ・二戸、一戸、軽米病院における歯科ラウンド参加 【二戸市、軽米町、九戸村、一戸町（管内市町村共通）】 ・カシオペア連携情報共有サイトの活用 【二戸市】 ○ ICT を活用した情報共有化システムの構築を行う NPO 法人「カシオペア医療介護支援センター」の運営支援 ○ 二戸市ケア会議介護保険部会多種連携連絡会議を開催し、情報の共有を図る 【軽米町】 ・カシオペア医療介護支援センター主催のカシオペア NET 構築検討会（包括支援部会）に出席し意見交換を行った 【九戸村】 ・軽米病院との在宅医療介護連絡会（隔月 1 回その他随時）にて、通院・入院患者の情報を共有 ・九戸地域診療センターとの情報共有 ・カシオペア医療介護支援センター主催の会議・研修会への参加 【一戸町】 ・カシオペア医療介護支援センター講師の「ICT を活用した地域包括ケアシステムについて」研修会を開催（47 名参加）	【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】 ○「カシオペアNET」の構築・運用、普及促進 ・関係機関に対してカシオペア NET の利用促進を図るとともに、これまで訪問診療・訪問看護に特化していたカシオペア NET を発展させ、地域包括ケアシステムに対応したより効果的・効率的なシステムの構築を進める。また、介護認定審査に係る連携支援として、主治医意見書等の共有に向け、二戸市の行政担当者、地域包括支援センター、介護施設関係者等との打ち合わせやデモ説明会を実施し、関連アプリの開発及び検討を進めている。 ・カシオペア NET 検討委員会及び包括支援部会では、地域内の医療・介護・福祉行政の多職種が、現状や将来を展望し地域に根差した ICT を活用した「地域包括ケアシステム」の構築に向けて共有及び協働してシステム構築作業を進めている。 ○操作説明会の実施 ・カシオペア NET の稼働にあわせ、職種や事業所ごとにかしおペア NET の使用方法や操作手順等についての説明会を実施する。 【一般社団法人二戸医師会】 ・NPO 法人カシオペア医療介護支援センターとの連携 【二戸歯科医師会】 ・二戸、一戸、軽米病院における歯科ラウンド参加 【二戸市、軽米町、九戸村、一戸町（管内市町村共通）】 ・カシオペア連携情報共有サイトの活用 【二戸市】 ○ ICT を活用した情報共有化システムの構築を行う NPO 法人「カシオペア医療介護支援センター」の運営支援 ○ 二戸市ケア会議介護保険部会多種連携連絡会議の開催による情報共有 【軽米町】 ・カシオペア NET 構築検討会（包括支援部会）への参加、システム構築に向け、意見収集や周知等協力を行う 【九戸村】 ・軽米病院との在宅医療介護連絡会（隔月 1 回その他随時）にて、通院・入院患者の情報を共有 ・九戸地域診療センターとの情報共有 ・カシオペア医療介護支援センター主催の会議・研修会への参加 【一戸町】 ・カシオペア医療介護支援センターを依頼し ICT を活用した地域包括ケアシステムについて研修会を開催	

圏域における取組等状況調書（様式２）					別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			・「地域のサポートを知ろう！介護と医療」をテーマに一戸町在宅医療セミナーを開催。87 名参加 ・ 一戸町地域包括ケア会議における情報共有（12 回）	・ 一戸町在宅医療セミナー開催 ・ 一戸町地域包括ケア会議における情報共有 年 12 回実施予定	
		（地域支援事業） ○ 「地域支援事業」により要支援者や要介護状態となるおそれのある高齢者が、可能な限り地域において自立した生活を営むことができるよう支援します。	【NPO 法人カシオペア医療介護支援センター】 ○地域の医療・介護資源の把握 ・カシオペア地域における医療・介護・在宅療養に必要な支援資源を把握するため、地域内の医療機関・介護事業所に関する情報を整理し、カシオペア NET 上で公開している施設窓口情報の更新を行った ・カシオペア地域の医療・介護・福祉マップの見直しに向け、必要な情報収集を実施 ○在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築の推進 ・カシオペア NET 検討委員会及び包括支援部会を設置し、多職種による連携強化、課題の抽出、連携体制の充実を図った ○会議・研修会での情報共有、普及啓発 ・関係機関が開催する会議等において、当 NPO 法人の活動内容及びカシオペア NET について説明・情報共有を行うとともに、ACP 及び在宅医療に関する出前講演を実施 ・ホームページを随時更新し、セミナー案内や活動報告等を掲載した。また、広報誌を 3 回発行し、活動状況等の周知を行った 【二戸薬剤師会】 ・二戸市ケア会議出席（6, 9, 12 月） ・各保険薬局に置いて、マイナンバーカード持参率向上運動を実施 ・各薬局において、インフルエンザ・コロナキットを管理、販売 【二戸市】 ・緩和された基準による訪問型サービス A の実施 ・生活支援コーディネーターの配置、第 1 層、第 2 層協議体の運営 【軽米町】 ・生活支援コーディネーター 1 名配置、第 1 層協議体会議の開催 年 4 回 ・認知症支援や地域づくりに係る研修会等へ参加 ・地域のニーズに沿った生活支援サービス等の立ち上げに係る後方支援 ・普及啓発活動（広報誌の発行）年 1 回 ・ボランティア活動に関する研修会の開催（年 4 回）、視察研修、買い物支援体験会の実施（年 1 回） ・地域ケア個別会議の開催 年 6 回 【九戸村】 ・協議体会議の開催 ・拠点施設「ほずのいえ」を中心とした居場所づくり ・生活支援ボランティア「ご近所すけっ隊」活動支援	【NPO 法人カシオペア医療介護支援センター】 ○地域の医療・介護資源の把握 ・現在活用している「カシオペア連邦介護・福祉マップ」及び「カシオペア連邦かかりつけ医マップ」について、内容の見直しと更新を行う ・医療・介護連携情報のデータベースとなるカシオペア NET を活用し、地域に必要な医療・介護資源の把握を進める。 ○在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築の推進 ・地域の医療・介護・福祉・行政関係者による協議の場として、カシオペア NET 検討委員会及び包括支援部会における情報交換・意見交換を継続して実施 ○会議・研修会での情報共有、普及啓発 ・関係機関からの依頼に対応し、各種会議・研修会等において情報共有や講演等を実施 ・ホームページの随時更新及び地域連携に有用なデータの掲載、加えて定期的な広報発行により、活動状況やシステム構築状況の周知を行う 【一戸病院】 ・訪問看護の実施（訪問看護ステーションいちのへ） 【二戸薬剤師会】 ・二戸市ケア会議への参加 ・マイナンバーカード持参率向上運動実施 ・インフルエンザ・コロナキット販売の実施 【二戸市】 ・緩和された基準による訪問型サービス A の実施 ・生活支援コーディネーターの配置、第 1 層、第 2 層協議体の運営 【軽米町】 ・生活支援コーディネーター 2 名配置、第 1 層協議体会議の開催 ・認知症支援や地域づくりに係る研修会等へ参加 ・地域のニーズに沿った生活支援サービス等の立ち上げに係る後方支援 ・普及啓発活動（広報誌の発行） ・ボランティア研修会の開催 ・地域ケア個別会議の開催 年 6 回 【九戸村】 ・協議体会議の開催 ・拠点施設「ほずのいえ」を中心とした居場所づくり ・生活支援ボランティア「ご近所すけっ隊」活動支援 ・第 2 層生活支援コーディネーターを新たに設置	

圏域における取組等状況調書（様式2）					別添2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			【一戸町】 ・住民ボランティア訪問型サービスBの実施(延 104 名利用) ・住民ボランティア養成講座の開催（4 名受講） ・生活支援コーディネーターや包括職員、NPO 等と連携し、通いの場活動支援の実施 介護予防普及啓発事業:69 回延参加者 824 人、地域活動予防活動支援事業：144 回延参加者 1,344 人 ・地域々個別会議の開催(10 回) 【二戸保健所】 ・歯科保健医療従事者研修会の開催	【一戸町】 ・住民ボランティア訪問型サービスBの実施 ・住民ボランティア養成講座の開催（6 名受講） ・生活支援コーディネーターや包括職員、NPO 等と連携し、通いの場活動支援の実施 ・地域々個別会議の開催（10 回予定） 【二戸保健所】 ・歯科保健医療従事者研修会の開催	
		(高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上) ○在宅や介護保険施設入所の高齢者への口腔ケアについては、二戸歯科医師会による施設や市町村包括支援センターの職員に対する研修や指導を実施し、施設のかかりつけ歯科医師の導入などを推進します。	【一戸病院】 ・歯科ラウンド実施（1 回/月） 【二戸歯科医師会】 ○二戸地域歯科保健、医療、介護従事者研修会開催(10/17) ・講演：「意思決定支援(ACP)と情報共有と NPO」 「二戸訪問看護ステーションにおける口腔ケアの実際」 ・講師：高橋浩氏、菊池英理子氏 【岩手県看護協会二戸支部】 ○高齢者施設出前研修の実施 ・講演：「摂食嚥下障害について」「誤嚥性肺炎予防について」 ・講師：荒田香奈子氏、向川公司氏 【二戸市】 ○高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上 ・歯科医師、歯科衛生士による歯科健診、口腔機能向上のための講話及び口腔体操を市内のサービス利用者を実施 ・66 歳、70 歳の節目年齢対象者に、歯科医院にて歯科健診・保健指導を実施。また、口腔機能低下のおそれのある対象者に対しては、歯科医師による摂食・嚥下機能向上のための指導を実施 ・高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上のため、音楽療法士や歯科衛生士による介護予防教室を各地区で実施 ○高齢者の食支援 ・介護予防教室や健康教室、出前講座等で低栄養予防に関する講話を実施 ・市内施設と連携を図るため、地域々推進会議において市高齢者事業について共有 【軽米町】 ・介護予防教室、健康教室で生活習慣病予防・フレイル予防および、口腔々を含めたオーラルフレイル予防に関する講話を実施 ・口腔機能ハリスク者に対し、改善のための個別保健指導を実施 ・歯科医療機関への受診勧奨を含め口腔機能向上事業を円滑に実施するために、関係機関との検討会を開催	【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】 ○口腔ケア依頼書の作成と利用拡大にかかる広報 ・二戸歯科医師会が作成した在宅等で利用者の口腔々支援を歯科医師に依頼する「口腔々依頼書」の円滑な運用について、NPO 法人において利用の促進に向けてカシオペアNET 内での情報提供や周知活動を展開 【一戸病院】 ・歯科ラウンド実施（1 回/月） 【二戸歯科医師会】 ○二戸地域歯科保健、医療、介護従事者研修会開催 【岩手県看護協会二戸支部】 ○高齢者看護研修の実施 ・講演：「誤嚥性肺炎予防、褥瘡予防」 ・講師：向川公司氏 【二戸市】 ○高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上 ・66 歳、70 歳の節目年齢の歯科健診・歯科保健指導の実施 ・口腔機能低下のおそれのある者に対し、口腔機能と摂食嚥下の機能維持及び向上のための指導を実施 ・高齢者の質問票により、口腔機能が低下している可能性の高い対象者へ、保健師、歯科衛生士が訪問を実施 ○高齢者の食支援 ・介護予防教室や健康教室、出前講座等で低栄養予防に関する講話を実施 ・市内施設と連携を図るため、地域々推進会議において市高齢者事業について共有 【軽米町】 ・介護予防教室、健康教室で生活習慣病予防・フレイル予防および、口腔々を含めたオーラルフレイル予防に関する講話を実施 ・口腔機能ハリスク者に対し、改善のための個別保健指導を実施 ・歯科医療機関への受診勧奨を含め口腔機能向上事業を円滑に実施するために、関係機関との検討会を開催	

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【九戸村】 ・口腔機能向上教室「元気歯つらつ教室」を開催し、歯科医師による講演と管理栄養士による「よく噛む食事」の試食提供と講話を実施。 ・介護予防教室で口腔機能向上に関する保健師の講話 【一戸町】 ・高齢期の歯科検診（76 歳）実施(29.4％受診) ・地区の教室・サロンなどで、歯科衛生士からオーラルフレイル予防教室を実施（25 回、延 258 人参加） ・歯科衛生士による訪問活動について：実績は無いが、介護支援専門員からの相談対応など行った 【二戸保健所】 ・歯科保健医療従事者研修会の開催	【九戸村】 ・村の管理栄養士と村内施設の管理栄養士が連携して介護食に関する家族介護者教室を実施 ・口腔機能向上教室「元気歯つらつ教室」を開催し、歯科医師による講演と管理栄養士による「よく噛む食事」の試食提供と講話を実施 ・介護予防教室で口腔機能向上に関する保健師の講話 【一戸町】 ・高齢期の歯科検診（76 歳）実施。 ・地区の教室・サロンなどで、歯科衛生士からオーラルフレイル予防教室を実施。 ・歯科衛生士による訪問活動の実施 【二戸保健所】 ・歯科保健医療従事者研修会の開催
		（認知症対策の推進） ○ 認知症地域支援推進員や認知症サポーターにより、認知症の人やその家族を支援します。また、認知症初期集中支援チームの活動により、自分で医療機関を受診できない認知症患者やその家族を支援します。	【一戸病院】 ・「認知症初期集中支援チーム」の活動に参加 ・もの忘れ予防教室の実施（1 回/週） ・もの忘れ外来の実施 ・重度認知症患者デｲケア（わく夢）実施中 425 名参加 ・認知症セミナー、各種研修会 講師派遣（医師） ・認知症医療センターとして地域の認知症対策を包括的に支援 【一般社団法人二戸医師会】 ○かかりつけ医認知症対応力向上研修（11/7） 「二戸地区認知症セミナー」の開催 ・講師：岩手県立一戸病院 理事 認知症疾患医療センター センター長 小井田 潤一 氏 岩手医科大学医学部 内科学講座脳神経内科・老年化分野 講師 石塚 直樹 氏 【二戸薬剤師会】 ・必要に応じて、患者、家族、一戸病院認知症疾患医療センターと連携 ・二戸市健康フェスティバルにおいて、「認知症」「物忘れ」などの関連資材を来場者へ配布（10/19） 【二戸市】 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症カフェの開催 ・認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症を知り共に支える市民セミナーの開催 ・認知症家族のつどい ・キャラバンメイトによる孫世代のための認知症講座開催 ・認知症ケアパスの周知・活用	【一戸病院】 ・「認知症初期集中支援チーム」の活動に参加 ・もの忘れ予防教室の実施（1 回/週） ・もの忘れ外来の実施 ・重度認知症患者デｲケア（わく夢）実施中 260 名参加（11 月現在） ・認知症セミナー、各種研修会 講師派遣（医師） ・認知症医療センターとして地域の認知症対策を包括的に支援 【一般社団法人二戸医師会】 ○かかりつけ医認知症対応力向上研修（9/4） 「二戸地区認知症セミナー」の開催 ・講師：岩手県立一戸病院 理事 認知症疾患医療センター センター長 小井田 潤一 氏 【二戸薬剤師会】 ・認知症の相談や物忘れの相談時に、一戸病院認知症疾患医療センターの紹介を行う ・二戸市健康フェスティバルにて、「認知症」「物忘れ」に関する資材の配布 【二戸市】 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症カフェの開催 ・認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症を知り共に支える市民セミナーの開催 ・認知症家族のつどい ・キャラバンメイトによる孫世代のための認知症講座開催 ・認知症ケアパスの周知・活用 ・認知症地域見守り支援員設置の検討

圏域における取組等状況調書（様式2）					別添2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			【軽米町】 ・認知症地域支援推進員・チームオレンジコーディネーター（兼務）配置 ・認知症初期集中支援チーム1チーム チーム員会議 11 回開催 ・認知症サポーターの活動促進 （認知症カフェ6回・認知症サポーター養成講座5回、認知症サポーターステップアップ講座1回 開催） ・認知症家族介護者教室の開催（①摂食嚥下障害、②ACP） ・認知症キャラバン・メイト交流会1回、広報発行1回 ・保健・介護・医療・福祉が連携するブック（認知症ゲートウェイ）の更新 ・認知症本人のつどい 年12回開催、 ・認知症ゲートウェイ普及啓発のためのオレンジフェスタ開催 年1回 ・チームオレンジ1団体の立ち上げ支援実施 【九戸村】 ・認知症地域支援推進員の設置 ・九戸地域診療センターと多職種連携連絡票により、認知症の可能性のある住民を早期に発見 ・認知症初期集中支援チームによる対応 ・オレンジカフェふくふく開催（隔月開催） ・介護予防教室や地域サロン等において認知症の早期発見、早期治療の必要性を啓発 ・中学1年生を対象に「孫世代のための認知症講座」の実施 【一戸町】 ○認知症地域支援推進員の活動支援（2名配置） ・認知症初期集中支援チーム員会議の実施(11回) ・認知症講座 県立一戸病院 小井田医師(2回、68名) ・認知症カフェの毎月開催（拠点型12回、巡回型11回延125人参加） ・認知症高齢者等見守り声かけ訓練の実施（鳥海地区62名参加） ・認知症ゲートウェイの普及活動を実施(9回、延234人参加） ・高齢者等お買い物サポーター活動の実施(12回、40名利用） ・いちのへオレンジ月間2024の実施（一戸病院内認知症カフェ、重度認知症デモグラフィック作品展など） ・認知症サポーター養成講座開催（小学生、高校生、地区住民、企業等） ○認知症家族支援事業 集いの場開催(8回 延30人参加)	【軽米町】 ・認知症地域支援推進員・チームオレンジコーディネーター（兼務）配置 ・認知症初期集中支援チーム員会議開催 ・認知症サポーターの活動促進 （認知症カフェ・認知症サポーター養成講座等開催） ・認知症家族介護者教室の開催（県立軽米病院と共催） ・認知症キャラバン・メイト交流・広報発行 ・認知症本人のつどい ・認知症ゲートウェイ普及啓発のためのオレンジフェスタ開催 ・チームオレンジの活動を後方支援 【九戸村】 ・認知症地域支援推進員の設置 ・九戸地域診療センターと多職種連携連絡票により、認知症の可能性のある住民を早期に発見 ・認知症初期集中支援チームによる対応 ・オレンジカフェふくふく開催（隔月開催） ・介護予防教室や地域サロン等において認知症の早期発見、早期治療の必要性を啓発 ・中学1年生を対象に「孫世代のための認知症講座」の実施 ・認知症セミナーとして上映会を実施 ・民生委員・保健推進員・一般向けに認知症サポーター養成講座を開催 【一戸町】 ○認知症地域支援推進員の活動支援（2名配置） ・認知症初期集中支援チーム員会議の実施 ・認知症カフェの毎月開催(拠点型、巡回型) ・認知症高齢者等見守り声かけ訓練の実施 ・認知症ゲートウェイの普及活動を実施 ・高齢者等お買い物サポーター活動の実施 ・いちのへオレンジ月間2025の実施 ・認知症サポーター養成講座開催 ○認知症家族支援事業	
		（地域医療構想の達成に向けて） ○ 圏域における病床機能の区分（高度急性期、急性期、回復期及び慢性期）ごとの将来の病床必要数（必要病床数）に基づき、医療機関等による協議や病院の自主的な取組により、病床機能の分化と連携を進めていきます。 ○ 二戸圏域における在宅医療資源や介護資源の現状などを踏まえ、追加的需要を考慮しながら、在宅医療等の体制整備に取り組みます。 ○ 県立病院では、地域包括ケア病棟・病床の導入などにより、急性期を経過した患者及び在宅療養を行っている	【二戸病院】 ・圏域診療情報共有システム(二戸、一戸、軽米病院)の円滑な運用 ・地域包括ケア病棟（50床）の運用 【軽米病院】 ・地域の介護施設、盛岡圏域及び八戸圏域の病院を訪問し軽米、二戸地域の患者さんの受け入れを進めている 【一戸病院】 ・一般36床、包括12床、精神147床、感染症4床 計199床で運用 ・訪問看護ステーション開設に向け準備中	【二戸病院】 ・圏域診療情報共有システム(二戸、一戸、軽米病院)の円滑な運用 ・地域包括ケア病棟（50床）の運用 【軽米病院】 ・地域の介護施設、盛岡圏域及び八戸圏域の病院を訪問し軽米、二戸地域の患者さんの受け入れを進めている 【一戸病院】 ・一般32床、包括16床(R7.10～)、精神147床、感染症4床 計199床で運用 ・訪問看護ステーション開設	

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
		患者の受入や患者の在宅復帰支援等を進めています。	【一般社団法人二戸医師会】 ・在宅医療人材育成研修の開催 【二戸薬剤師会】 ・介護支援専門員協議会と連携し、在宅訪問経験薬剤師がEP7によって偏りがある実態について広域的対応策を協議 ・在宅訪問の幅を広げるため、化学療法患者受け入れ整備と継続研修への参加を実施。また、ターミナルに対応するため、麻薬取り扱いと無菌操作の調整を行った 【岩手県看護協会二戸支部】 ○感染管理研修の実施 ・講演：「感染対策におけるファシリティマネジメント」 ・講師：外館善裕氏 【二戸保健所】 ・二戸圏域地域医療連携会議及び二戸構想区域地域医療構想調整会議の開催	【一般社団法人二戸医師会】 ・在宅医療人材育成研修の開催 【二戸薬剤師会】 ・介護支援専門員協議会と連携して、自宅訪問に取り組む ・化学療法研修会への参加と麻薬無菌調整の実施及び麻薬譲渡の基礎の構築 【岩手県看護協会二戸支部】 ○感染管理研修の実施 ・講演：「感染管理」 ・講師：鈴木直子氏 【二戸保健所】 ・二戸圏域地域医療連携会議及び二戸構想区域地域医療構想調整会議の開催
生活習慣病の予防対策の推進	（生活習慣病予防対策が求められている背景） ○生活習慣病の死亡率は、高齢化の進展に伴い増加傾向です。一方、年齢調整死亡率などの指標は、減少傾向にあるものの、全国平均との比較では依然として高い状況にあります。	（生活習慣病対策全般） ○「対策は予防に尽きる」ことから、定期健診・がん検診受診率向上及び保健指導の推進など生活習慣病の発生活予防・重症化予防に取り組みます。	【軽米病院】 ・生活習慣病教室の開催（年6回） ・小児健康教室「にこにこ教室」 ・・小学4年生対象（年3校）、中学1年生対象（年1校） ・高校生への生活習慣病予防講演・・年11校（二戸・久慈圏域） 【一戸病院】 ・生活習慣病に関する治療管理 【一般社団法人二戸医師会】 ○高等学校生活習慣病対策講演会の開催 ・講演：「体重管理と生活習慣病」 ・講師：岩手県立軽米病院 理事 横島 孝雄 氏 ○肥満・低身長対策小委員会への参加 【二戸薬剤師会】 ・二戸市と連携し、特定検診・がん検診受診率向上活動を実施（ティッシュペーパー配布してのPR実施） ・11/9開催の「減塩市民公開講座」において薬剤師会で座長を担当。また、医薬品卸と協力して「減塩ブース」の展示を実施 【二戸市】 ・7、9、11月に特定健診を実施。受診率向上委員会を開催し、受診勧奨方法等について検討 ・4、6、8月に胃がん・大腸がん・腹部超音波検診を実施 ・7～12月に乳がん・子宮がん検診を実施 ・市の広報、ラジオFM、電話、パブリック、チラシ、訪問等で受診勧奨に加え、薬剤師会に協力をいただきながら薬局で受診勧奨 ・令和4年度実施した、二戸市内の企業（従業員50人以上）に対しての、がん検診の実施状況のアンケート調査もとに受診勧奨を実施	【軽米病院】 ・生活習慣病教室の開催（年6回） ・小児健康教室「にこにこ教室」 ・・小学4年生対象（年3校）、中学1年生対象（年1校） ・高校生への生活習慣病予防講演・・年11校（二戸・久慈圏域） 【一戸病院】 ・生活習慣病に関する治療管理 【一般社団法人二戸医師会】 ○高等学校生活習慣病対策講演会の開催 ・講演：「体重管理と生活習慣病」 ・講師：岩手県立軽米病院 理事 横島 孝雄 氏 ○肥満・低身長対策小委員会への参加 【二戸薬剤師会】 ・特定検診・がん検診受診率を向上させるため、服薬指導時に必要な患者さんへ受診の重要性と予防の大切さを指導していく ・二戸市健康フェスティバルにおいて減塩のPRを行うなど、減塩活動に参画していく 【二戸市】 ・特定健診及びがん検診の実施 ・特定健診及びがん検診の受診率向上のための取組の実施

二戸圏域の主な死因別年齢調整死亡率の推移																	
年	総人口 (不詳人口を 除く)	年齢調整死亡率(人口10万対) 岩手県は、岩手県内9圏域中のワースト順位															
		悪性新生物				心疾患(高血圧性を除く)				脳血管疾患				肺炎			
		総数	順位	男	女	総数	順位	男	女	総数	順位	男	女	総数	順位	男	女
H26	56,783	312.4	9	458.6	212.9	220.0	2	307.5	164.1	152.6	2	221.2	104.8	107.3	9	193.4	71.4
H27	55,683	300.8	9	492.9	180.6	221.1	9	294.7	167.9	121.0	8	173.9	97.7	132.9	7	244.0	85.3
H28	54,611	314.4	9	474.8	208.1	231.5	2	346.3	166.0	127.1	9	182.3	97.2	113.4	2	210.3	62.0
H29	53,552	295.0	8	438.8	197.0	186.4	6	247.7	145.1	133.9	9	158.6	113.8	76.5	9	141.4	43.7
H30	52,493	272.5	8	402.2	182.8	178.1	8	230.3	145.1	148.8	7	168.1	121.3	91.5	7	163.3	53.0
R1	51,298	329.4	9	480.8	231.9	174.5	8	201.9	149.4	136.2	2	169.3	102.9	82.1	2	123.5	61.0
R2	50,658	288.1	8	380.0	234.1	153.9	8	185.3	132.8	119.0	6	134.4	105.8	55.4	6	118.2	24.4

- <肥満> 小中学校及び高等学校の肥満傾向の児童・生徒の出現率は、ほとんどの調査対象学年で県平均を上回っています。
- <喫煙> 管内の喫煙者の割合は、男女とも県平均を上回っています。一方で妊婦については、県内で最も低い喫煙率となっています。

圏域における取組等状況調書（様式２）					別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			【軽米町】 ○特定健診、各種がん検診の受診率向上 ・集団健診・個別健診・休日夜間健診の実施 ・特定健診とがん検診の同日実施 ・若年者健診対象者へ受診勧奨パンフレットを送付 ・健診後の医療機関受診勧奨と受診状況把握 ○精密検査の受診率向上 ・胃がん・大腸がん・肺がん検診の精査受診日の指定 ○普及啓発 ・栄養ワーカーにて栄養と口腔に関する講話を実施（４会場） ・町内小中学校で生活習慣病について講話を実施（にこにこ教室） ・県立高校にて健全な食生活の実践に向けた講話及び調理実習を実施 ・生活習慣病予防に関する講演会を実施（コホート研究より） ・生活習慣病予防の食事について食育講座を実施 ・生涯にわたっての口腔保健 【九戸村】 ○特定健診、各種がん検診の受診率向上 ・各種健診及び検診の受診勧奨 ・広報誌や行政無線放送での呼びかけ ・休日検診の実施 ・節目年齢で受診料無料のクーポンを配布 【一戸町】 ○特定健診・各種がん検診の実施 ・未受診者対策（未受診者調査・受診勧奨）の実施 ・要医療・要精密検査者の事後管理 ・若年健診の実施（19 歳から 39 歳の住民対象） ○生活習慣病予防の知識の普及啓発（広報等の活用） ・検診時、間食のとり方に関するリーフレット配布 ○運動習慣の定着化や健康増進意識の向上を目的とし、スマートフォンアプリを使用したインセンティブ事業を実施	【軽米町】 ○特定健診、各種がん検診の受診率向上 ・集団健診・個別健診・休日夜間健診の実施 ・特定健診とがん検診の同日実施 ・若年者健診対象者へ受診勧奨パンフレット送付 ・まだら受診者への受診勧奨パンフレット送付 ・健診後の医療機関受診勧奨と受診状況把握 ○精密検査の受診率向上 ・胃がん・大腸がん・肺がん検診の精査受診日の指定 ○普及啓発 ・県立高校にて健全な食生活の実践に向けた講話及び調理実習を実施 ・生活習慣病予防講演会実施予定 ・食育講演会実施予定 ・生涯にわたっての口腔保健 【九戸村】 ○特定健診、各種がん検診の受診率向上 ・各種健診及び検診の受診勧奨 ・広報誌や行政無線放送での呼びかけ ・休日検診の実施 ・節目年齢で受診料無料のクーポンを配布 【一戸町】 ○特定健診・各種がん検診の実施 ・未受診者対策（未受診者調査・受診勧奨）の実施 ・要医療・要精密検査者の事後管理 ・若年健診の実施（19 歳から 39 歳の住民対象） ○生活習慣病予防の知識の普及啓発（広報等の活用） ・検診時、間食のとり方に関するリーフレット配布 ○運動習慣の定着化や健康増進意識の向上を目的とし、スマートフォンアプリを使用したインセンティブ事業を実施	
		（脳卒中・心血管疾患対策） ○ ＜予防＞ 血圧の適正化のため、塩分の適量摂取については、地域の食に関わる企業、飲食店などとの連携による一層の環境整備を進めます。また、住民への広報活動や健康教室・健康相談などの一層の充実に努めます。 ○ ＜応急手当、病院前救護＞ 脳卒中の早期受診の必要性など住民に対する啓発を積極的に行っていきます。また、12 誘導心電図伝送システムやメディカルコントロール体制の確保・充実を促進し、急性心筋梗塞や脳卒中の救命率及び社会復帰率の向上に取り組めます。	【軽米病院】 ・必要時、栄養指導を実施 ・軽米町と連携しての腎臓病教室 年 1 回 【一戸病院】 ・圏域の急性期病院と連携を図りながら治療が必要な患者の早期発見や再発予防などに取り組んでいる 【一般社団法人二戸医師会】 ・セミナーの開催、後援 【二戸薬剤師会】 ・県薬剤師会開催研修会及び二戸医師会研修会に参加 ・高血圧・心血管疾患患者中心に、服薬指導時において減塩の重要性を指導	【軽米病院】 ・必要時、栄養指導を実施 ・軽米町と連携しての腎臓病教室 年 1 回 【一戸病院】 ・圏域の急性期病院と連携を図りながら治療が必要な患者の早期発見や再発予防などに取り組んでいる 【一般社団法人二戸医師会】 ・セミナーの開催、後援 【二戸薬剤師会】 ・県薬剤師会開催研修会及び二戸医師会研修会に参加 ・高血圧・心血管疾患患者へ、減塩の必要性を服薬指導時に行っていく	

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【二戸地区広域行政事務組合消防本部】 ○救急講習の開催による心肺蘇生法の普及 ・延べ 83 回の講習会を実施（受講者：1, 694 名） ○救急現場から二戸病院への 12 誘導心電図伝送(参考：H27 から) 【二戸市】 ・健診時に推定塩分摂取量を測定し、その結果をもとに生活習慣の振り返りと高血圧の予防・改善に向けて栄養指導を実施し、減塩の普及・啓発に努めた ・生活習慣病の重症化を予防するために、年に 1 回健康診断を受けるよう受診勧奨を実施 ・精密検査の対象になった際は、早期に病院受診するよう受診勧奨を実施 ・妊娠届出時に塩分チェック試験紙を配布し、妊娠中期（25 週頃）に塩分チェックの結果を用いた食生活の指導を実施 ・毎月 19 日に健康レシポを市内スーパーや産直、病院、歯科医院、薬局、施設へ配布。また、レシポの動画も撮影し、SNS に投稿。 ・簡易尿中塩分測定器、塩分測定器を貸し出し、その結果についての栄養相談を行った ・児童・生徒や市民対象の減塩教室（講話、調理実習）を開催 【軽米町】 ○脳卒中・高血圧対策 ・健診結果にて血糖・血圧・脂質の有所見者に対し、生活習慣病予防改善教室（全 5 回）を実施 ○普及啓発 ・食生活改善推進協議会の協力で働き盛り世代のための生活習慣病予防教室を実施。また、各地区やイベント等で野菜摂取量測定を実施 ・各種健康教室にて適塩及び尿ナトリウムの普及啓発、野菜摂取量増加に向けた講話を実施 【九戸村】 ○地区栄養教室 ・健康教育の実施 ・食生活改善推進員による減塩おにぎり作り体験 ○特定健診 ・推定塩分摂取量測定検査の実施 ○健診結果説明会 ・健診結果に基づく個別指導、健康教育の実施 【一戸町】 ○地区健康教室 ・減塩、高血圧予防に関する健康教育 ○普及啓発事業 ・減塩食レシポの作成・普及・試食提供（広報・イベント等） ・町内飲食店と共同で減塩の取組み、減塩に関するリーフレットの配布 ・ベジメータを使用した野菜摂取量アップの取組み	【二戸地区広域行政事務組合消防本部】 ○救急講習の普及継続 ・救命率、社会復帰率の向上に対する取り組み ・関係機関との連携強化 ○救急現場からの 12 誘導心電図伝送 【二戸市】 ・健診時に推定塩分摂取量を測定し、その結果をもとに生活習慣の振り返りと高血圧の予防・改善に向けて栄養指導を実施し、減塩の普及・啓発に努める ・生活習慣病の重症化を予防するために、年に 1 回健康診断を受けるよう受診勧奨を実施 ・精密検査の対象になった際は、早期に病院受診するよう受診勧奨を実施 ・妊娠届出時に塩分チェック試験紙を配布し、妊娠中期（25 週頃）に塩分チェックの結果を用いた食生活の指導を実施 ・毎月 19 日に健康レシポを市内スーパーや産直、病院、歯科医院、薬局、施設へ配布。また、レシポの動画も撮影し、SNS に投稿。 ・簡易尿中塩分測定器、塩分測定器を貸し出し、その結果についての栄養相談を行う ・児童・生徒や市民対象の減塩教室（講話、調理実習）を開催。 【軽米町】 ○脳卒中・高血圧対策 ・健診結果にて血糖・血圧・脂質の有所見者に対し、生活習慣病予防改善教室（全 5 回）を実施 ○普及啓発 ・食生活改善推進協議会の協力で働き盛り世代のための生活習慣病予防教室を実施。また、各地区やイベント等で野菜摂取量測定を実施 ・各種健康教室にて適塩及び尿ナトリウムの普及啓発、野菜摂取量増加に向けた講話を実施 【九戸村】 ○地区栄養教室 ・健康教育の実施 ・食生活改善推進員による低栄養予防の手軽なハンバーガー作り体験 ○特定健診 ・推定塩分摂取量測定検査の実施 ○健診結果説明会 ・健診結果に基づく個別指導、健康教育の実施 【一戸町】 ○地区健康教室 ・減塩、高血圧予防等に関する健康教育 ○普及啓発事業 ・減塩食レシポの作成・普及・試食提供（広報・イベント等） ・減塩に関するリーフレットの配布 ・ベジメータを使用した野菜摂取量アップの取組み

圏域における取組等状況調書（様式 2）					別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			○特定健診 ・推定塩分摂取量測定検査の実施 ・血圧測定値高値者に対する保健指導の実施、血圧手帳の配布 ・若年健診（19 歳から 39 歳の住民対象）により肥満・血糖・血圧等の有所見者に対する保健指導の実施 【二戸保健所】 ○健康的な食事地域普及研修 ・食生活改善推進員を対象に健康的な食事（スマート和食）の実践/ノウハウについて研修会を開催 ○健康経営の取組の推進 ・事業所への出前講座にて健康経営について講話 ○外食栄養成分表示登録店等推進事業 ・栄養成分表示拡大講習会の開催、新規登録の勧誘、既登録店へのフォローアップ ○「いわて減塩・適塩の日」促進事業 ・市町村健康まつり、スーパー等において減塩及び循環器病等予防について普及啓発 ○カシオペア健康ニュースレターの発行 ・脳卒中をはじめとする生活習慣病予防について管内事業所及び従業員を対象に情報提供	○特定健診 ・推定塩分摂取量測定検査の実施 ・血圧測定値高値者に対する保健指導の実施、血圧手帳の配布 ・若年健診（19 歳から 39 歳の住民対象）により肥満・血糖・血圧等の有所見者に対する保健指導の実施 【二戸保健所】 ○健康的な食事地域普及研修 ・食生活改善推進員を対象に健康的な食事（スマート和食）の実践/ノウハウについて研修会を開催 ○健康経営の取組の推進 ・事業所への出前講座にて健康経営について講話 ○外食栄養成分表示登録店等推進事業 ・栄養成分表示拡大講習会の開催、新規登録の勧誘、既登録店へのフォローアップ ○「いわて減塩・適塩の日」促進事業 ・市町村健康まつり、スーパー等において減塩及び循環器病等予防について普及啓発 ○カシオペア健康ニュースレターの発行 ・脳卒中をはじめとする生活習慣病予防について管内事業所及び従業員を対象に情報提供	
		（糖尿病対策） ○ ＜予防＞ 「健康いわて 21 プラン」（第 3 次）に基づき、若年期から食生活や運動に留意した健康的な生活習慣の定着、肥満防止等により糖尿病の予防を推進します。 ○ ＜早期発見・早期治療＞ 糖尿病は早期発見、早期治療が重要であることから、今後も特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に向けた取組を推進します。 ○ ＜悪化・合併症防止＞ 糖尿病連携手帳を活用した自己管理の徹底と情報の共有による医療連携に取り組みます。	【軽米病院】 ・看護の日と世界糖尿病デーの取り組みとして、生活習慣病予防のための生活・食事についてのポスターを掲示し啓蒙活動を実施 ・外来待ち時間を活用し、日本糖尿病療養指導士、慢性疾患看護専門看護師による面談を行い、併せて、フットケアを実施し、合併症の予防に取り組んでいる ・糖尿病合併症予防指導や糖尿病透析予防指導を実施。 ・糖尿病性腎症重症化予防の取り組みが、行政・医師会・医療機関の連携により行われている。 ・岩手医大の教授を講師として講演会を実施。 「糖尿病の外科治療」（11/25） 講師）岩手医科大学外科学講座 教授 佐々木 章 先生 ・軽米病院糖尿病認定医を講師として講演会を実施 「糖尿病とがんについて」（12/6） 講師）軽米病院 理事 横島 孝雄 先生 【一戸病院】 ・当該疾患の受診患者について指導・管理し、合併症の発症や悪化に努めている。 ・フットケア研修会へ 3 名参加 【一般社団法人二戸医師会】 ○糖尿病性腎症疾病管理強化対策事業の実施（2/4） ・講師：岩手医科大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授 石垣 泰 氏 ○セミナーの開催、後援	【軽米病院】 ・看護の日と世界糖尿病デーの取り組みとして、生活習慣病予防のための生活・食事についてのポスターを掲示し啓蒙活動を実施 ・外来待ち時間を活用し日本糖尿病療養指導士、慢性疾患看護専門看護師による面談を行ない、併せて、フットケアを実施し、合併症の予防に取り組んでいる ・糖尿病合併症予防指導や糖尿病透析予防指導を実施。 ・糖尿病性腎症重症化予防の取り組みが、行政・医師会・医療機関の連携により行われている。 ・岩手医大の教授を講師として講演会を実施。 「おなかポッコリの解消から健康寿命を延ばそう」（11/21） 講師）岩手医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授 石垣 泰 先生 【一戸病院】 ・当該疾患の受診患者について指導・管理し、合併症の発症や悪化に努めている。 ・フットケア研修会へ 2 名参加 【一般社団法人二戸医師会】 ○糖尿病性腎症疾病管理対策事業の実施（12/16） ・講師 岩手医科大学医学部内科学講座 腎・高血圧分野 教授 旭 浩一 先生 ○セミナーの開催・講演 ○糖尿病合併症チェック月間の設定 ○「カシオペア連邦糖尿病連携のてびき」改訂	

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【二戸薬剤師会】 ・カシホア糖尿病性腎症重症化防止会議、研修会へ参加 【二戸市】 ○糖尿病対策 ・生活習慣病の重症化を予防するためにも年に１回、健康診断を受けるよう受診勧奨を実施 ・健康診断の結果から、血糖高値の者に対し、早期に病院受診するよう訪問や電話にて受診勧奨を実施 ・生活習慣に関する指導が必要な者に対し、保健指導を実施 ・糖尿病をはじめとする生活習慣病予防について講演会及び教室を開催 ・診療所、市内クリニック患者への個別栄養指導を実施 ○肥満対策 ・保育施設や学校と連携した個別肥満指導を実施した。 【軽米町】 ○肥満対策 ・保育施設や学校保健との連携による個別肥満指導 ・町内小中学校に親子料理レシピ配布 ・町内保育園等の保護者に対し、食に関するアンケート調査を実施 ・健康的な食習慣の普及（各種健康教育） ○重症化防止 ・糖尿病性腎症重症化予防事業として、有所見者について医療機関受診勧奨及び保健指導を実施したほか、糖尿病治療中断者に治療再開を働きかけた。 【九戸村】 ○特定健診 ・健診実施による糖尿病の早期発見及び早期治療 ・精密検査対象者への訪問による早期受診勧奨実施 ○健診結果説明会 ・健診結果に基づく個別指導、健康教育の実施 ○ヘルシー生活教室 ・生活習慣病に関する健康教育及び調理実習、運動教室の実施 【一戸町】 ○特定健診 ・糖尿病所見要医療者に対する受診勧奨の実施 ・糖尿病重症化予防事業の実施（受診勧奨・保健指導） ・若年健診（19 歳から 39 歳の住民対象）により肥満・血糖・血圧等の有所見者に対する保健指導の実施 ○健康教室の開催 ・生活習慣病・歯科に関する健康教育の実施 ○肥満対策 学校保健との連携 ・町内養護教諭との情報交換会の実施 ・児童の歯科・肥満・発達等の課題について情報交換の実施 ・児童及び保護者に対する個別指導の実施（小学校２校） 保育施設との連携 ・幼児の歯科・肥満・発達等の課題について情報交換の実施	【二戸薬剤師会】 ・カシホア糖尿病性腎症重症化防止会議、研修会へ参加 【二戸市】 ○糖尿病対策 ・健康診断の実施 ・健診結果から医療受診が必要な方に対する受診勧奨の実施 ・生活改善に関する保健指導の実施 ・講演会や教室の開催や個別指導を通して糖尿病に関する知識の普及を図る ・糖尿病予防教室を開催 ・診療所、市内クリニック患者への個別栄養指導を実施 ○肥満対策 ・保育施設や学校と連携した個別肥満指導を実施 【軽米町】 ○肥満対策 ・保育施設や学校保健との連携による個別肥満指導 ・町内小中学校に親子料理レシピ配布予定 ・健康的な食習慣の普及（各種健康教育） ○重症化防止 ・糖尿病性腎症重症化予防事業として、有所見者について医療機関受診勧奨及び保健指導を実施したほか、糖尿病治療中断者に治療再開を働きかけた。 【九戸村】 ○特定健診 ・健診実施による糖尿病の早期発見及び早期治療 ・精密検査対象者への訪問による早期受診勧奨実施 ○健診結果説明会 ・健診結果に基づく個別指導の実施、健康教育の実施 ○ヘルシー生活教室 ・生活習慣病に関する健康教育及び調理実習、運動教室の実施 【一戸町】 ○特定健診 ・糖尿病所見要医療者に対する受診勧奨の実施 ・糖尿病重症化予防事業の実施（受診勧奨・保健指導） ・若年健診（19 歳から 39 歳の住民対象）により肥満・血糖・血圧等の有所見者に対する保健指導の実施 ○健康教室の開催 ・生活習慣病・歯科に関する健康教育の実施 ○肥満対策 学校保健との連携 ・町内養護教諭との情報交換会の実施 ・児童の歯科・肥満・発達等の課題について情報交換の実施 ・児童及び保護者に対する個別指導の実施（小学校２校） 保育施設との連携 ・幼児の歯科・肥満・発達等の課題について情報交換の実施

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【二戸保健所】 ○事業所出前講座 ・生活習慣病予防について管内事業所に出前講座を実施 ○カシオペア健康ニューズレターの発行 ・生活習慣病予防について管内事業所及び従業員を対象に情報提供	【二戸保健所】 ○事業所出前講座 ・生活習慣病予防について管内事業所に出前講座を実施 ○カシオペア健康ニューズレターの発行 ・生活習慣病予防について管内事業所及び従業員を対象に情報提供
		(喫煙対策) ○ 受動喫煙による健康被害を防止するため、多くの住民が利用する市町村本庁舎等公共施設の禁煙化を進めることが重要です。また、未成年者や妊産婦等も利用する飲食店、宿泊施設等の禁煙・分煙化を食品衛生協会やホテル旅館業組合等と協同で取り組みます。	【軽米病院】 ・禁煙に係るポスターを掲示し啓蒙をしている 【二戸市】 ・たばこの害についてポスター等を掲示 ・禁煙指導の実施 ・敷地内全面禁煙の実施を継続 【軽米町】 ・たばこの害についてポスターにて周知 ・妊婦と赤ちゃんの受動喫煙防止のため、母子健康手帳交付時及び赤ちゃん訪問時に本人と可能な場合は家族指導実施 ・特定保健指導の際、喫煙者へ禁煙指導実施 【九戸村】 ・役場本庁舎及び分庁舎の敷地内分煙、喫煙マナーの周知 【一戸町】 ・受動喫煙防止のため、本庁舎、出先機関とも敷地内全面禁煙を継続 ・たばこの害についてポスターにて周知 ・特定健診会場で喫煙者に対して、リーフレットを用いて禁煙の呼びかけの実施 【二戸保健所】 ○施設管理者等の説明会 ・改正健康増進法及び飲食店での受動喫煙対策について周知 ○世界禁煙デーにおけるキャンペーン ・啓発ポスターやカシオペア健康ニューズレターにより周知	【軽米病院】 ・禁煙に係るポスターを掲示し啓蒙をしている 【二戸市】 ・たばこの害についてのポスターの掲示 ・受動喫煙に関するポスターの掲示 ・特定保健指導の際の禁煙指導の実施 ・敷地内全面禁煙の実施の継続 【軽米町】 ・たばこの害についてポスターにて周知 ・妊婦と赤ちゃんの受動喫煙防止のため、母子健康手帳交付時及び赤ちゃん訪問時に本人と可能な場合は家族指導実施 ・特定保健指導の際、喫煙者へ禁煙指導実施 【九戸村】 ・役場本庁舎及び分庁舎の敷地内分煙、喫煙マナーの周知 【一戸町】 ・受動喫煙防止のため、本庁舎、出先機関とも敷地内全面禁煙を継続 ・たばこの害についてポスターにて周知 ・特定健診会場で喫煙者に対して、リーフレットを用いて禁煙の呼びかけの実施 【二戸保健所】 ○施設管理者等の説明会 ・改正健康増進法及び飲食店での受動喫煙対策について周知 ○世界禁煙デーにおけるキャンペーン ・啓発ポスターやカシオペア健康ニューズレターにより周知
新興感染症等への対応	(新興感染症等への対応に取組む背景) ○ 県の感染症予防計画の方針を踏まえ、新興感染症の発生・まん延時における医療体制の整備を図る必要があります。 ○ 新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえ、平時から地域における役割分担を踏まえた感染症医療及び通常医療の提供体制の整備を図る必要があります。	(体制の整備) ○ 新興感染症の感染拡大時の医療体制を確保するため、研修・訓練の実施や地域連絡会議等の開催を通じ、発生時の危機管理体制の強化を図ります。	【軽米病院】 ・二戸病院主催の感染防止対策地域連携会議及び新興感染症対応訓練に出席し、新興感染症への感染対策を図っている 【一戸病院】 ・院内感染防止対策研修会（年２回）実施 ・感染防止対策地域連携カンファレンス、新興感染症対策訓練への参加 【一般社団法人二戸医師会】 ・院内感染対策連携会議及び新興感染症訓練への参加 ・研修会への参加 【二戸市】 ○庁内連携等による体制構築を継続	【軽米病院】 ・二戸病院主催の感染防止対策地域連携会議及び院内において標準予防策の再度徹底のための訓練を実施している 【一戸病院】 ・院内感染防止対策研修会（年２回）実施 ・感染防止対策地域連携カンファレンス、新興感染症対策訓練への参加 【一般社団法人二戸医師会】 ・院内感染対策連携会議及び新興感染症訓練への参加 ・研修会への参加 【二戸市】 ○研修会への参加、庁内連携等による体制構築の継続 ○市新型インフルエンザ等対策行動計画を改定し、新興感染症当への対応強化に向けて取組む

圏域における取組等状況調書（様式 2）				別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【九戸村】 ・研修会・会議等への参加 ・庁内会議による緊急時の体制構築 【二戸保健所】 ○感染症予防対策研修会 ・感染症の集団発生リスクの高い高齢者施設、教育・保育施設等の職員を対象に感染症の基礎知識や発生時の対応等について研修会を開催 ○新興感染症等対応訓練 ・新興感染症発生時の対応について、関係機関による対応訓練を実施	【九戸村】 ・研修会・会議等への参加 ・庁内会議による緊急時の体制構築 【一戸町】 ・新型インフルエンザ等対策行動計画変更作業着手 【二戸保健所】 ○感染症予防対策研修会 ・感染症の集団発生リスクの高い高齢者施設、教育・保育施設等の職員を対象に感染症の基礎知識や発生時の対応等について研修会を開催 ○新興感染症等対応訓練 ・新興感染症発生時の対応について、関係機関による対応訓練を実施
医師等医療従事者や介護従事者の確保による医療・介護体制の充実	（医師等医療従事者や介護従事者不足の背景） ○ 二戸圏域の医療機関に勤務する医師数は、119.3 人（R2（2020）、人口 10 万対 234.8）と県平均を下回っており医師の確保が重要な課題となっています。 ○ 診療科別では、常勤医の少ない診療科及び常勤医のいない診療科があるなど、地域完結型医療を推進する上での課題となっています。 ○ 看護職員は、看護師数 409.6 人（同 806.2）で 9 圏域中 4 位、准看護師数 63.1 人（同 124.2）で 9 圏域中 8 位となっています。 ○ 今後、介護サービスの需要が増大し、介護支援専門員などの介護職員が不足することが見込まれることから、介護従事者の確保が必要となっています。 （在宅医療の推進） ○ 圏域では、訪問診療や往診を実施している医療機関がありますが、在宅療養支援診療所がない状況であり、マンパワー不足や 24 時間対応の困難さなどの課題があります。 （周産期医療の充実） ○ 産科医、小児科医の不足や地域偏在など県北地域の周産期医療を取り巻く厳しい環境に対応するため、周産期医療機関の機能分担と連携を一層進め、妊娠のリスクに応じた適切な周産期医療を提供する必要があります。 （回復期機能を有する病棟の確保及びリハビリテーションの充実） ○ 圏域には、脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の患者に対して、医療や介護サービス等との連携のもとで様々なリハビリテーションが提供されていますが、リハビリテーションを集中的に行うための回復期リハビリテーション病棟がない状況です。	（医師等医療従事者確保の推進） ○ 今後、「地域枠」で医学部に入った学生が、医師として県内で従事することから、医師不足地域に確実に配置されるよう県・医療局・大学等に対し地域一体となって働きかけていきます。 ○ 将来的に二戸地域を希望する医師を育てるため、臨床研修病院である県立二戸病院を中心に、研修協力病院や研修協力施設とともに臨床研修体制を充実することにより、地域と一体となった医師確保体制を構築します。 ○ 医師による中学校に出向いての講座や病院における医療現場体験や看護体験を実施します。 ○ 医療従事者の負担を軽減し、住民も医療の担い手であるという認識のもと、地域医療を支える住民参加の取組を推進し、医師をはじめとする医療従事者を守り育てる意識を高めます。	【二戸病院】 ・初期臨床研修医の受け入れ及び育成（2 年次 3 名、1 年次 2 名） ・ふれあい看護体験の実施（5 月） ・病院祭での就業体験実施（8 月） ・医療職養成施設として各分野での受け入れ 【軽米病院】 ・岩手医大生 1 学年「地域医療体験学習」の受入 2 名 ・岩手医大生 3 学年「地域医療研修」の受入 3 名 ・岩手医大生 5 学年「地域医療臨床実習」の受入 8 名 ・臨床研修病院（協力型）として、初期の地域医療分野の臨床研修医を受入 二戸病院 3 名 ・看護学生の職場実習の受入 岩手県立大学 3 名 二戸高看 36 名 ・臨床実習受入 岩手リハビリテーション学院 1 名 ・医療現場体験の開催 軽米中学校 4 名、軽米高校 1 名 【一戸病院】 ○看護 ・5 月 ふれあい看護体験 参加者 3 名 ・5 月 看護の日イベント 参加者 17 名 ・7 月 インターンシップ 受け入れ 1 名 ・10 月 一戸中学校への出前授業 看護師 1 名出席 ・看護学生の受け入れ（県立大学、二戸高看、東北福祉看護学校） ○リハビリ ・7 月 県内専門学校学生 1 名実習受け入れ ・1 月 県外短大学生 1 名実習受け入れ予定 ○栄養管理 ・大学生実習 1 名受け入れ ○公認心理師 ・12 月 2 名実習生受け入れ ・1 月 1 名実習生受け入れ ○多職種 ・11 月 高校生の職場体験の受け入れ（職種：薬剤部門、リハビリ部門、栄養管理部門、放射線部門） 4 名	【二戸病院】 ・初期臨床研修医の受け入れ及び育成（2 年次 2 名、1 年次 2 名） ・ふれあい看護体験の実施（5 月） ・病院祭での就業体験実施（8 月） ・医療職養成施設として各分野での受け入れ 【軽米病院】 ・岩手医大生 1 学年「地域医療体験学習」の受入 2 名 ・岩手医大生 3 学年「地域医療研修」の受入 2 名 ・岩手医大生 5 学年「地域医療臨床実習」の受入 3 名 ・臨床研修病院（協力型）として、初期の地域医療分野の臨床研修医を受入 二戸病院 2 名 ・看護学生の職場実習の受入 岩手県立大学 3 名 二戸高看 36 名 ・臨床実習受入 岩手リハビリテーション学院 1 名 ・医療現場体験の開催 軽米中学校 4 名 【一戸病院】 ○看護 ・5 月 ふれあい看護体験 参加者 5 名 ・5 月 看護の日イベント 参加者 26 名 ・7～9 月 インターンシップ 受け入れ 5 名 ・10 月 一戸中学校への出前授業 看護師 1 名出席 ・看護学生の受け入れ（県立大学、二戸高看、東北福祉看護学校） ○公認心理師 ・11 月 2 名実習生受け入れ ・12 月 2 名実習生受け入れ ○多職種 ・10 月 中学生の職場体験の受け入れ（職種：薬剤部門、リハビリ部門、栄養管理部門、放射線部門） 5 名 ・11 月 高校生の職場体験の受け入れ（職種：薬剤部門、リハビリ部門、栄養管理部門、放射線部門） 1 名

圏域における取組等状況調書（様式 2）

別添 2

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【二戸薬剤師会】 ・県立福岡高校進学状況の確認、生徒への支援を行う 【岩手県看護協会二戸支部】 ○看護の日のイベントとして、各県立病院、二戸訪問看護ステーションにて「ふれあい看護体験」を中高生を対象に実施 【二戸市、軽米町、九戸村、一戸町（管内市町村共通）】 ・市町村医師養成事業負担金（岩手県国保連）の拠出を通じて奨学金養成医師育成を図った 【軽米町】 ・岩手県国保連への養成医師配置の要望を県立軽米病院の実態を確認し提出 ・町村要望に於いて、地域医療の確保として、県立軽米病院と、当町の精神保健事業に協力いただいている県立一戸病院精神科の医師確保と医療体制の充実強化について要望 【一戸町】 ・外国人医学奨学生：医師国家資格合格初期研修 2 年目 【二戸保健所】 ○中学校出前講座の開催 ・金田一中学校（6/27） ・軽米中学校（11/29） で実施 ○中学生医療現場見学の実施 ・夏休み期間中（8/8）に二戸病院で実施 ○岩手医大生 1 学年「地域保健介護福祉見学研修」の受入 6 名	【二戸薬剤師会】 ・県立福岡高校進学状況の確認、生徒への支援を行う 【岩手県看護協会二戸支部】 ○看護の日のイベントとして、各県立病院、二戸訪問看護ステーションにて「ふれあい看護体験」を中高生を対象に実施 【二戸市、軽米町、九戸村、一戸町（管内市町村共通）】 ・市町村医師養成事業負担金（岩手県国保連）の拠出を通じて奨学金養成医師育成を図った 【軽米町】 ・岩手県国保連への養成医師配置の要望を県立軽米病院の実態を確認し提出 ・町村要望に於いて、地域医療の確保として、県立軽米病院と、当町の精神保健事業に協力いただいている県立一戸病院精神科の医師確保と医療体制の充実強化について要望 【一戸町】 ・外国人医学奨学生：後期研修 1 年目 【二戸保健所】 ○中学校出前講座の開催 ・軽米中学校（6/19） ・金田一中学校（7/15） で実施 ○中学生医療現場見学の実施 ・夏休み期間中（8/7）に二戸病院で実施 ○岩手医大生 1 学年「地域保健介護福祉見学研修」の受入 7 名
		（在宅医療の推進） ○ 訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療などの在宅療養者や家族のニーズに対応した在宅医療体制を確保するために、医療と介護との連携体制の強化や人材の育成などに取り組みます。	【軽米病院】 ・訪問診療を月 4 回実施 ・訪問看護ステーション(2 ヶ所)との連携 【一戸病院】 ○在宅医療科で訪問診療、訪問看護を実施しており、次年度訪問看護ステーション開設に向け準備を進めた ・訪問診療 325 件（一般科 128 件 精神科 197 件） ・訪問看護 9,097 件（一般科 3,472 件 精神科 5,079 件） ・一戸町在宅医療推進会議、セミナーへ多職種出席 【一般社団法人二戸医師会】 ・在宅医療人材育成研修の実施 【二戸薬剤師会】 ・介護支援専門員協議会など、多職種の会議へ積極的に参画 【岩手県看護協会二戸支部】 ・訪問看護総合支援事業として、訪問看護に興味のある看護師(潜在看護師)等の就職促進、医療機関等に勤務する看護師の退院支援、在宅療養支援の能力向上を目的とした「訪問看護ステーションにおける体験型研修」を実施	【軽米病院】 ・訪問診療を月 4 回実施 ・訪問看護ステーション(2 ヶ所)との連携 【一戸病院】 ○訪問診療・在宅看取りの実施、訪問看護ステーション開設 ・訪問診療 164 件（一般科 48 件 精神科 116 件） 11 月現在 ・訪問看護 5,467（一般科 1,855 件 精神科 3,209 件） ・一戸町在宅医療推進会議、セミナーへ多職種出席 【一般社団法人二戸医師会】 ・在宅医療人材育成研修の実施 【二戸薬剤師会】 ・介護支援専門員協議会など、多職種の会議へ積極的に参画 【岩手県看護協会二戸支部】 ・訪問看護総合支援事業として、訪問看護に興味のある看護師(潜在看護師)等の就職促進、医療機関等に勤務する看護師の退院支援、在宅療養支援の能力向上を目的とした「訪問看護ステーションにおける体験型研修」を開催

別添2

圏域における取組等状況調書（様式2）				
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
			【二戸市】 ○訪問歯科診療 ・福祉施設担当者会議にて周知活動を行った ・在宅介護されている方の歯科口腔相談及び訪問実施 ・通所介護事業所と歯科衛生士による歯科保健事業についての事業報告及び各施設同士の情報共有を実施 【軽米町】 ・保健医療福祉連絡会の開催 年6回（偶数月） ・かほへ医療介護支援センター主催の研修会等に参加 ・多職種連携研修会の開催 ・地域7ヶ個別会議の開催 年6回（奇数月） ・地域包括7ヶ推進協議会 年1回 ・かほへNET 検討委員会（包括支援部会）等の活動 ・保健医療福祉連絡会や研修会を通じ、医療と介護との連携体制の強化につながっているため今後も連携を強化していく ・かほへNET に関する周知 【九戸村】 ・地域7ヶ会議に九戸地域診療センターや二戸訪問看護ステーションから同席頂き連携強化を図る。かほへNET 構築への参画。 【一戸町】 ・一戸町在宅医療推進会議や研修会の開催（5回） ・住民向けセミナー開催「地域の未来を知ろう！介護と医療」（87 名参加） ・かほへNET 検討委員会研修会への参加 ・一戸町地域包括7ヶ会議の実施（12 回） ・歯科衛生士による口腔衛生指導の実施：実績はなかったが、介護支援専門員への助言などを行った	【二戸市】 ○訪問歯科診療 ・在宅介護されている方の歯科口腔相談及び訪問の実施 ・通所介護事業所と歯科保健事業について、情報共有の実施 【軽米町】 ・保健医療福祉連絡会の開催 年6回（偶数月） ・かほへ医療介護支援センター主催の研修会等への参加 ・多職種連携研修会の開催 ・地域7ヶ個別会議の開催 年6回（奇数月） ・地域包括7ヶ推進協議会 年1回 ・かほへNET 検討委員会（包括支援部会）等の活動 ・保健医療福祉連絡会や個別7ヶ会議、研修会を通じ、医療と介護との連携体制の強化につながっている。今年度は自立支援型ケアマネジメントに着目し個別7ヶ会議を開催。また、今年度新たに歯科医師からの助言を求めるため、構成員を改め今後も連携を強化していく。 ・かほへNET に関する情報共有の場を設け、今後の町の介護医療連携の更なる強化を目指す。 【九戸村】 ・地域7ヶ会議に九戸地域診療センターや二戸訪問看護ステーションから同席頂き連携強化を図る。かほへNET 構築への参画。 【一戸町】 ・一戸町在宅医療推進事務局会議や研修会の開催（4回） ・住民向けセミナー開催「高齢者住まい看取り研修」。内容としてVRを使用した「救急医療における心肺蘇生」「生きとし生けるもの」を視聴しながら看取りについて考えた。（70 名参加） ・かほへNET 検討委員会研修会への参加 ・一戸町地域包括7ヶ会議の実施（12 回） ・歯科衛生士による口腔衛生指導を実施
		（周産期医療の充実） ○ 妊産婦が安心して出産に臨めるよう岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」の活用により、妊産婦の状況に応じた適切な医療の提供及び支援に取り組めます。 ○ 全国的に産科医師が不足していることを踏まえ、地域で安心して出産できるよう妊婦の交通費や宿泊費を行政が支援する、産前・産後ケア事業に取り組むなど、地域全体で妊産婦を支える取組を進めます。	【一般社団法人二戸医師会】 ・岩手県北周産期研究会開催への協力 ・産後7ヶ事業への協力 【二戸市】 ・こども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の連携による相談や必要な支援を一体的に行い、相談支援体制の充実を図った ・妊娠期からの相談体制を強化するため、妊娠届出時には母子健康手帳交付及び全数面談を行い、妊娠時より伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付を実施し、切れ目のない支援に努めた ・妊娠届出時に母子健康手帳交付及び全数面談（88 人）を行い、伴走型相談支援（延べ258 人）及び出産・子育て応援給付（183 人）を実施	【一般社団法人二戸医師会】 ・岩手県北周産期研究会開催への協力 ・産後7ヶ事業への協力 【二戸市】 ・こども家庭センターにおいて、母子保健と児童福祉の連携による相談や必要な支援を一体的に行い、相談支援体制の充実を図る ・妊娠期からの相談体制を強化するため、妊娠届出時には母子健康手帳交付及び全数面談を行い、妊娠時より伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付を実施し、切れ目のない支援に努める ・既存の産前産後サポート事業に加え、新規に産後7ヶ事業（デｲｰﾍﾞｰｽ型）を実施し、産後うつの予防や育児不安の軽減、地域からの孤立の予防に努める

圏域における取組等状況調書（様式 2）					別添 2
圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定	
			・産前産後サポート事業(延べ 526 人)、産後ケア事業(延べ 21 人)を実施し、産後うつ予防や育児不安の軽減、地域からの孤立の予防に努めた ・妊産婦乳児健康診査(延べ、妊婦 1,001 人・産婦 173 人・乳児 251 人)、新生児聴覚検査費用助成(91 人)、妊産婦健康診査交通費助成(延べ 10 件)を実施 ・関係機関や医療機関との連絡調整、子育て関連機関とのフォロー会議を実施し情報共有を図り、個別支援を実施 【軽米町】 ・子育て世代包括支援センター「めぐかる」の運営 ・妊婦訪問、養育訪問、こんにちは赤ちゃん訪問の実施 ・ベビーマッサージ、沐浴指導等の両親支援 ・妊産婦・乳児健康診査、新生児聴覚検査費用助成の実施 ・妊娠出産応援用品の贈呈 ・妊産婦健診交通費助成 ・特別な医療を有する新生児の家族への面会交通費助成 ・1 歳未満児へのオムツ費用助成 ・産後ケア事業の実施 ・かるまい子育て応援アプリ「めぐかる」を活用した情報発信 ・各関係医療機関との岩手県周産期医療情報ネットワーク「いーはと一ぶ」及び電話等でのハリスクや要支援妊産婦の情報共有や連携の強化 【九戸村】 ・妊産婦健康診査等交通費助成事業の実施 ・出産費用助成事業の実施 ・多胎妊娠の妊婦健康診査費助成金交付事業の実施 ・九戸村妊娠判定受診費用助成の実施 ・産後ケア事業の実施（アウトリーチ型） 【一戸町】 ○「いーはと一ぶ」の活用 妊婦健診や出産状況を確認し、家庭訪問時期の検討や対象者へのアプローチに活用 ○中学校思春期講座の開催 奥中山中学校の生徒に対して思春期講座を実施 ○一戸町妊産婦健康診査交通費助成 一戸町内に住所を有する妊産婦に対し、妊産婦健康診査に係わる交通費用を助成 ○一戸町産後ケア事業の実施 育児不安が強く保健指導を必要とする産婦に対してアウトリーチによるサービスを実施。乳房トラブル等必要時は待ち時間なく即時対応	・妊産婦乳児健康診査・新生児聴覚検査・妊産婦健康診査交通費・新生児拡大マスキニング検査・生殖補助医療費の費用助成を実施 ・関係機関や医療機関との連絡調整、子育て関連機関とのフォロー会議を実施し情報共有を図り、個別支援を実施 【軽米町】 ・子育て世代包括支援センター「めぐかる」の運営 ・妊婦訪問、養育訪問、こんにちは赤ちゃん訪問の実施 ・ベビーマッサージ、沐浴指導などの両親支援 ・妊産婦・乳児健康診査、新生児聴覚検査費用助成の実施 ・妊娠出産応援用品の贈呈 ・妊産婦健診交通費助成 ・特別な医療を有する新生児の家族への面会交通費助成 ・1 歳未満児へのオムツ費用助成 ・産後ケア事業の実施 ・生殖補助医療費助成 ・特別の理由による予防接種の再接種事業 ・かるまい子育て応援アプリ「めぐかる」を活用した情報発信 ・各関係医療機関との岩手県周産期医療情報ネットワーク「いーはと一ぶ」及び電話等でのハリスクや要支援妊産婦の情報共有や連携の強化 【九戸村】 ・妊産婦健康診査等交通費助成事業の実施 ・出産費用助成事業の実施 ・多胎妊娠の妊婦健康診査費助成金交付事業の実施 ・九戸村妊娠判定受診費用助成の実施 ・産後ケア事業の実施（アウトリーチ型） ・新生児拡大マスキニング検査費用助成の実施 【一戸町】 ○「いーはと一ぶ」の活用 令和 8 年度末でシステムが終了する旨の連絡を受けた後、各医療機関での入力が行われなくなったため、代替えの方法で妊婦健診や出産状況を確認し、家庭訪問時期の検討や対象者へのアプローチを検討 ○中学校思春期講座の開催 奥中山中学校の生徒に対して思春期講座を実施 ○一戸町妊産婦健康診査交通費助成 一戸町内に住所を有する妊産婦に対し、妊産婦健康診査に係わる交通費用を助成 ○一戸町産後ケア事業の実施 育児不安が強く保健指導を必要とする産婦に対してアウトリーチによるサービスを実施。乳房トラブル等必要時は待ち時間なく即時対応	

圏域における取組等状況調書（様式 2）

別添 2

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組実績	R 7 年度における取組状況及び予定
		（回復期機能を有する病棟の必要性及びリハビリテーションの充実） ○ 急性期から回復期、維持期への円滑な移行を図るため、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟など回復期機能を有する病棟の必要性を協議するとともに、病期に応じたリハビリテーションが実施できるよう医療従事者の確保と資質向上に努め、地域の状況に応じた医療・介護連携及び多職種連携の体制構築を図ります。	【二戸病院】 - 急性期から回復期までを支える病院づくり - 地域包括ケア病棟（50 床）の運用 【軽米病院】 - 回復期機能を有する地域包括ケア病床の健全な運営の継続 【一戸病院】 - 地域包括ケア病床（12 床）運用	【二戸病院】 - 急性期から回復期までを支える病院づくり - 地域包括ケア病棟（50 床）の運用 【軽米病院】 - 回復期機能を有する地域包括ケア病床の健全な運営の継続 【一戸病院】 - 令和 7 年 10 月より地域包括ケア病床（16 床）運用
		（介護従事者の確保支援） ○ 介護職員処遇改善加算の取得促進の働きかけや、市町村が、介護支援専門員などの介護専門職の資格取得の支援について検討するなど、介護人材を地域全体で確保する取組を進めます。	【軽米町】 - 介護支援専門員資格取得等助成金の周知を行った 【九戸村】 - 中学校において介護福祉職についての PR 活動を実施 【一戸町】 - 一戸町介護職員等確保対策協議会において、県内専門学校等へ町内事業所を紹介した（北日本医療福祉専門学校、盛岡医療福祉スポーツ専門学校、県立大学） - 町内小中学校に対し、介護・福祉職の PR 活動実施。 町内小学校 4 校 6 回、北桜高校 2 回	【軽米町】 - 介護支援専門員資格取得等助成金の周知を引き続き行う 【九戸村】 - 中学校において介護福祉職についての PR 活動を実施 - 県立伊保内高校のカリキュラム内において、希望者に介護福祉職の PR やキャップハンディ体験を実施 【一戸町】 - 一戸町介護職員等確保対策協議会において、県内専門学校等へ町内事業所を紹介する - 町内小中学校に対し、介護・福祉職の PR 活動実施する